

西千葉学園通り“みんなのみちばた”プロジェクトが始動します ～西千葉学園通りにベンチが設置されました！～

千葉市は、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成による都市の再生を図るため、これまでの「車中心」から「ひと中心」へと転換するウォーカブルなまちづくりを推進しています。

このたび、地域の方々が主体となって、「みちの使い方」や「まちの将来」を考え、実行する「西千葉学園通り“みんなのみちばた”プロジェクト」が開始されましたので、お知らせします。

1 社会実験の名称

西千葉学園通り“みんなのみちばた”プロジェクト

2 実施期間

令和4年5月～令和5年4月（1年間）

3 実施主体

みんなのみちばたプロジェクト実行委員会

千葉市（共催）

<実行委員会の構成員>

- ・NPO法人Drops
- ・緑町1丁目自治会
- ・沿道店舗

<経緯>

西千葉学園通りの植栽帯には、アガパンサスが植えられています。これらは、無電柱化の道路工事を行った際に、地域の方々によって植えられたもので、草取りやごみ拾いなどの日常管理を実施してから、今年で10年目になります。

実行委員会は、このアガパンサスの日常管理によって生まれた「地域のつながり」から発足しました。

4 実施概要

本プロジェクトの第一弾として、歩道の植栽帯にベンチを設置しました。このことをきっかけに、将来的には活動の輪と幅を広げていくことを目指しています。

5 実施場所

西千葉学園通り（稲毛区緑町1丁目8-16他）

み：みちばた空間（ベンチを置く場所）



6 実施状況



設置したベンチ等



ベンチ等の利用の様子

【実行委員会が設置したベンチ等について】

- ①ベンチ：地域の建材店から提供された材料によって自作
- ②スツール：千葉市内の伐採樹木を再利用
- ③瓦チップ：令和元年の房総半島台風で被災した瓦を再利用

7 添付資料

チラシ（実行委員会作成）

<参考>千葉市のウォークブル社会実験事例

千葉都心ウォークブル推進社会実験（CHIBA NOKI-NYOKI PROJECT）

URL <https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/toshinseibi/chibatoshinwalkable.html>